



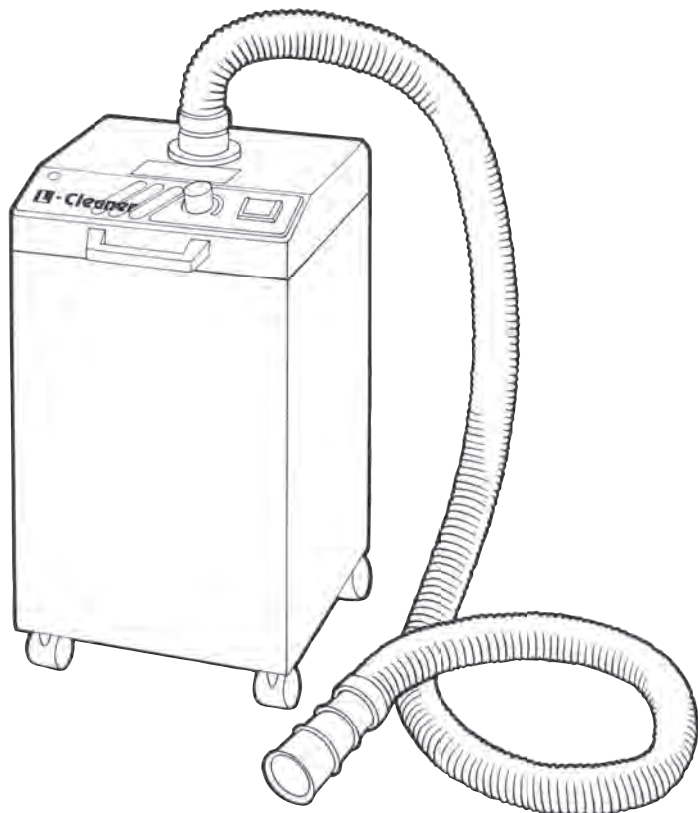
安全にお使いいただくために、
取扱説明書をよくお読みください。

L-Cleaner

松風 L-クリーナー

SLC-II

取扱説明書



SHOFU INC.

はじめに

このたびは、「松風 L-クリーナー」をご購入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は「松風 L-クリーナー」の正しい取り扱い方と、日常の点検および注意について説明しています。

本器の性能を十分に発揮させ、また常に良好な状態を保っていただくため、ご使用になる前には本書をよくお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後もいつでも見られるところに大切に保管してください。

もくじ

1 特長	1
2 安全にお使いいただくために	2
3 梱包内容の確認	3
4 各部の名称	4
5 別売(オプション)	5
6 設置	6
7 紙パックのセットと交換	7
8 使用方法	9
9 サーモストップランプ点灯時の処置方法	10
10 ブロワの寿命	11
11 仕様	12
12 交換部品	12
13 保証について	13

1 特長

松風 L-クリーナーは小型ながら強力ブロワと吸引力の無段階調節機能のコンビネーションにより、小型のペンシルタイプから一般のサンドブラスターまでの各種サンドブラスターの集塵器として威力を発揮し、またお手持ちのフィッシュマウス、技工用作業ボックスなどとの接続により、一般作業用集塵器としてもお使いいただけるコストパフォーマンスの高い多目的技工用集塵器です。専用のリモコンが接続できますので、専用のリモコン（別売）を使うことにより設置場所を選びません。

●強力ブロワとパワー調節機能のベストコンビ

強力なターボファン型ブロワを吸引源とし、その吸引力を無段階に調節（真空度：2.0kPa～10.8kPa）できる機能を備えているため、用途に応じた最適な吸引力で集塵でき、様々な用途に、かつ経済的にお使いいただけます。

●ディスポーザブル紙パック（集塵袋）の採用

フィルター部にはディスポーザブルタイプの目づまりしにくい二重構造紙パックを採用しているため、設定した集塵力が長時間持続し、また紙パックの交換はワンタッチ操作で、しかも塵埃の飛散がなく衛生的に行えます。

●ブロワの過熱防止機能付きの安全設計

万一、集塵口やホースがつまったり、紙パックが一杯の時などの過負荷の状態でも運転を続けてブロワのモーター部温度が異常に上昇した場合、自動的にブロワを停止させてブロワや本体の過熱トラブルを防止します。

●コンパクト設計 リモコン接続可能

本体寸法は幅23cm、奥行き23cm、高さ43.6cmとコンパクト化になっています。

また、専用のリモコンが使用できるため設置場所を選びません。

2 安全にお使いいただくために

本器を安全にお使いいただくために、以下の事項を必ず守ってください。

1. キャスターを取り外して本体を直接床面に設置しないでください。

L-クリーナーは底面より排気しますので、キャスターを取り外してケース部を直接床に設置したり、底面が塞がるような設置はしないでください。

2. 接続機器側の空気調節も行なってください。

サンドブラスターなどの集塵に使用される場合、集塵パワーの調節とともに接続機器側の空気穴の調節も行なってください。

3. 運転前に必ず紙パックやフェルトフィルターのセット状態をご確認ください。

運転時に紙パックやフェルトフィルターがセットされていなかったり、セット位置がずれていた場合、集塵した金属粉や砂が直接ブロワに吸い込まれ、ブロワの破損や寿命低下につながりますので、必ず運転前にそれらが正確にセットされていることをご確認ください。

4. 過負荷運転時の本体や排出空気の高温化にご注意ください。

紙パックが一杯の時や集塵ホースがつまっている時などの過負荷状態での運転時にはブロワの温度がかなり上昇し、本体下部や排出空気はかなり高温になりますのでご注意ください。

5. 紙パックは必ず新しい指定のものをお使いください。

紙パックは使い捨てですので繰り返しの使用はやめ、必ず指定の「東芝クリーナー用VPF-6」をご使用ください。もし、指定紙パック以外のものをご使用になられた場合、L-クリーナーの性能と品質は保証できませんのでご注意ください。

6. サーモストップランプ点灯時は必ず紙パックやホースをご点検ください。

万一、ブロワが停止しサーモストップランプが点灯（過熱防止機能が作動）した場合、ほとんどの場合が紙パックがいっぱいや集塵ホース類がつまっているなどの空気が吸入できない過負荷での運転が原因ですので、そのときは必ず紙パックを新品と交換するかホース類を点検してその原因を取り除いてください。

7. 使用後は必ず電源スイッチをお切りください。

ブロワの寿命や機器の安全のため、使用後は必ず電源スイッチを切り、1日の作業終了後にも必ず電源スイッチがOFFであることをご確認ください。

8. 次のものは吸わないでください。

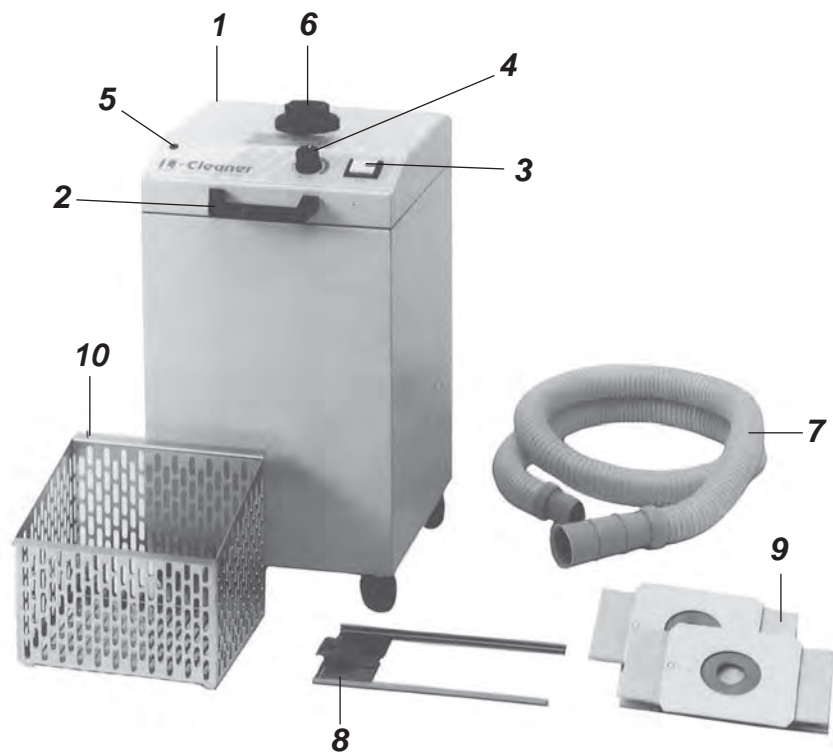
水、ぬれたもの、
ガソリン、シンナーなど引火性のもの、
くぎ、針、画鋏などの先が鋭利なもの。

3 梱包内容の確認

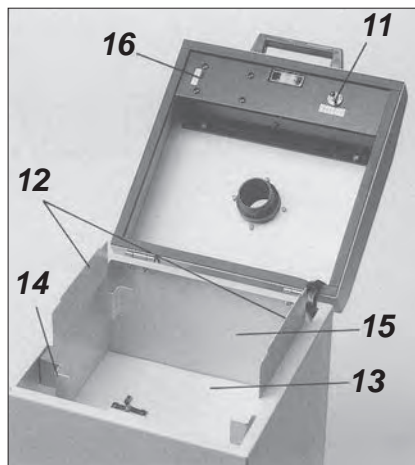
設置を行う前に、以下のものがすべてそろっていることを確認してください。

本体	1台	付属品	
		集塵ホース(1.5m)	1本
		バスケット	1個
		紙パックホルダー	1個
		紙パック	2枚
		取扱説明書	1冊
		保証書	1通

4 各部の名称



- | | |
|--------------|------------|
| 1 蓋ケース | 6 集塵口 |
| 2 取手 | 7 集塵ホース |
| 3 電源スイッチ | 8 紙パックホルダー |
| 4 集塵パワー調節ツマミ | 9 紙パック |
| 5 サーモストップランプ | 10 バスケット |



11 冷却スイッチ

12 ホルダースタンド

13 フェルトフィルター

14 バスケットポジショナー

15 集塵室

16 50/60Hz切替スイッチ

17 電源コード

18 リモコン接続用ソケット

5 別売(オプション)

L-クリーナー用リモコン

仕様	
ケーブル長さ	2m
外形寸法	W180X D95 X H68 (mm)
本体質量	約800g



6 設置

1. 底面からの排気が充分抜けるような空間がある床、または安定した台の上に設置します。
2. 電源スイッチがOFFであることを確認した後、電源コードをAC100V・5Aの使えるコンセントに確実に接続します。
また、50Hz地域での使用の場合は蓋ケース内面の切替スイッチを、50Hzに設定します。



注記

- 底面排気ですのでキャスターをはずしてケース部を直接設置したり、底面が塞がるような設置は絶対しないでください。
- 電源コードのアース線は必ずアースしてください。

3. 付属の集塵ホースを利用してサンドブラスターなどの目的の機器に接続します。



注記

集塵口とホースなどの接続部分の隙間は集塵力の低下につながりますのでご注意ください。

4. L-クリーナー用リモコン(別売)を接続してお使いになる際はリモコンに添付されている取扱説明書をよくお読みください。

7 紙パックのセットと交換

1. バスケットの本体へのセット

フェルトフィルターが集塵室の底面にケース面と隙間なくセットされているのを確かめてから、その上にバスケットを耳部分の低い側を手前側にしてバスケットポジショナー内にセットします。

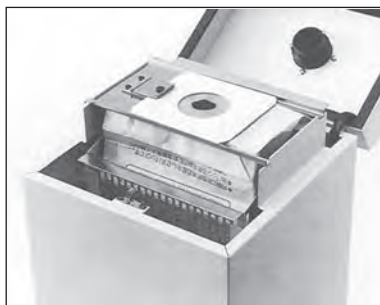
2. 紙パックの紙パックホルダーへのセット

- (1) 紙パックの厚紙部分を紙パックホルダー上面のセットエリアいっぱいまで差し込みます。(袋部分は紙パックホルダーの下側になります。)
- (2) パックポジショナーのビスを厚紙部分のポジションホールに確実に差し込みます。



3. 紙パックホルダーの本体へのセット

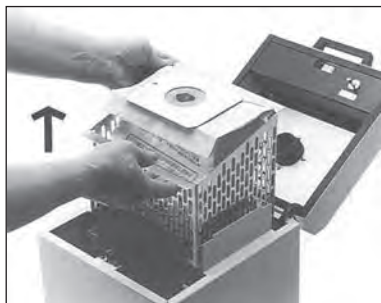
- (1) 2でセットした紙パックの袋部分を適度に広げます。
- (2) 広げた袋部分がバスケット内に収まるよう紙パックホルダーを真上からホルダースタンド部へ持っていき、紙パックホルダーのセットスリット部と反対側の解放部とが必ず各々2枚のホルダースタンドの突起部分にはまり込むよう正確にセットします。



4. 使用済みの紙パックの交換

集塵後の一杯になった紙パックは下記の要領で新しい紙パックと交換してください。

- (1) 紙パックの固定をポジションホールからパックポジションナーを外して解除します。
- (2) 紙パックホルダーをホルダースタンドより少し浮かせ横方向に滑らせるようにして紙パックから抜き取ります。
- (3) 紙パックの入ったバスケットを本体より取り出し、そのまま紙パックをダストボックスなどに捨ててください。
- (4) 新しい紙パックを1、2、3と同じ要領で正確にセットします。



注記

- 紙パックが一杯のまま運転を続けた場合、過負荷のためブロワが異常発熱しますので、紙パックはできるだけ内容量が8割程度になった時点で新しいものをご交換ください。
- 紙パックは交換の際、必ず指定の「東芝クリーナー用VPF-6」をご使用ください。
- フェルトフィルターも定期的に取り出して掃除してください。

8 使用方法

1. 紙パックやバスケット、フェルトフィルターなどが正確にセットされているのを確認します。
(「紙パックのセットと交換」を参照)
2. 電源スイッチを入れます。
3. 集塵パワー調節ツマミで集塵目的に合わせて集塵力の調節を行います。

【参考】

ペンシルタイプサンドブラスター.....	弱
一般サンドブラスター.....	弱～中
フィッシュマウス.....	中～強



注記

サンドブラスターなどと接続する場合は接続機器側の空気穴の調節も行なってください。

4. 使用後は必ず電源スイッチをお切りください。

9 サーモストップランプ点灯時の処置方法

運転中、ブロワが停止しサーモストップランプが点灯（過熱防止機能が作動）した場合、過負荷運転などによるブロワの異常な発熱によるものですので、下記の要領により正常運転できるようにしてください。

1. 次のような過負荷運転の原因となる部分を点検し、その原因を取り除きます。
 - (1) 紙パックが一杯になっていないか？ →新品と交換（「紙パックのセットと交換」参照）
 - (2) 集塵口やホース内がつまっていないか？ →異物の除去
 - (3) フェルトフィルターが目づまりしていないか？ →掃除
 - (4) 接続機器側のフィルターなどが目づまりしていないか？ →フィルターの掃除
 - (5) 本体の底面が塞がっていないか？ →正しく設置（「設置」参照）
2. 過負荷の原因を取り除いた後、ブロワの温度を正常に戻すために蓋ケース内にある冷却スイッチを約2分間（スイッチをOFFにしてもブロワが停止しなくなるまで）ONし続け、ブロワを強制冷却します。
3. 2でブロワの温度も下がり、過熱防止機能が解除されましたので正常運転が行えます。



注記

サーモストップランプ点灯の際に引き続いて集塵作業を行わない場合は、まず電源スイッチを切り、続いて1の紙パックやホース類の点検だけは必ず行なっておいてください。

10 ブロワの寿命

L-クリーナーのブロワは小型で高出力を出すために、モーター部には電流を整流するブラシと整流子という部品を持った高速回転型の整流子モーターが使用されており、このブラシと整流子は互いに回転接触しているためブロワ(L-クリーナー)の使用とともに徐々に摩耗し、最後にはブラシか整流子が摩耗し切ってモーターが回転しなくなります。通常、このときがブロワの寿命となりますのでお取扱店または当社にブロワの交換をお申し出ください。

11 仕様

形式	SLC-II
定格電源	AC100V 50/60Hz (切替式)
電源入力	500VA
真空度	2.0kPa~10.8kPa
過熱防止機能	サーマルプロテクター (自動復帰型) + 動作 (サーモストップ) ランプ ^o 強制冷却スイッチ付き
接続ソケット	L-クリーナー用リモコン接続用ソケット (L-クリーナー用リモコンは別売りです。)
ブロウ寿命	連続使用 約1,000時間
集塵口径	内径φ30mm、外径φ42mm
紙パック	東芝クリーナー用「VPF-6」(市販品)
外形寸法	W230×D230×H436(mm)
本体質量	約8.5kg

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

12 交換部品

消耗部品/ 交換部品	部品名	形式・定格	交換時期	入手方法	交換
●消	紙パック	東芝VPF-6	適時	市販品	使用者
⊗交	紙パックホルダー	—	破損時	メーカー	使用者
⊗交	バスケット	—	破損時	メーカー	使用者
●消	集塵ホース	洗濯機用 排水ホース	適時	市販品	使用者
⊗交	フェルトフィルター	—	破損時	メーカー	使用者
●消	ブロウ	整流子ブロウ	寿命・破損時	メーカー	メーカー
⊗交	ヒューズ	ガラス管 φ6.4X30mm AC125V 7A	熔断時	市販品	使用者

※ ●消 は消耗部品を、⊗交 は交換部品を示します。

13 保証について

当社に起因する故障の場合は、保証規定により1年間の無償で修理致します。但し、次の場合は除かせていただきます。

- 保証書の提示が無い場合、改造された場合、使用者側で修理調整された場合、誤った取扱いの場合のトラブル。
 - 消耗部品（紙パック、集塵ホース、ブロワ）
- 詳しくは保証書をご覧ください。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

www.shofu.co.jp

本社●〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)